

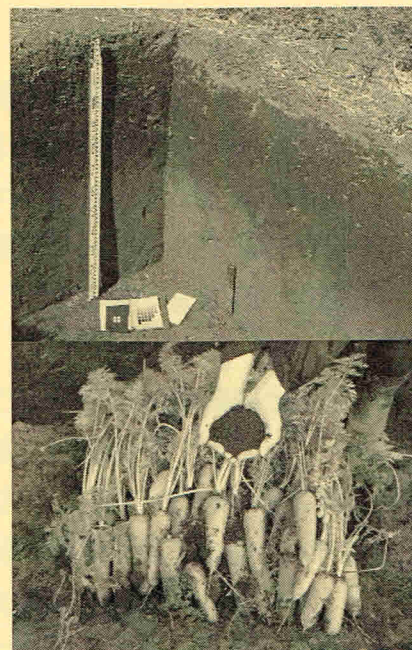
千葉県の豊かな**土壌**

—その成り立ちと家庭菜園の土づくり—

講演内容

- ・ 千葉県の地形特性とその成り立ち
—地形が違くと土壌も違う?—
- ・ 野菜生産を支える千葉の土
- ・ 堆肥の特性と家庭菜園における土づくりのポイント
- ・ 肥料の特性に即した家庭菜園における施肥のポイント
- ・ 実践、家庭菜園における土づくり

千葉県の野菜生産を支える土壌の生い立ちと特性、それらを踏まえた家庭菜園での堆肥と肥料の利用法などを、最新の研究成果とともにわかりやすく御紹介します。(概要は裏面を御覧下さい)



平成28年**3月5日**(土) 13:30~16:10

- 会 場 千葉県立中央博物館講堂 (千葉市中央区青葉町955-2)
最寄りの駅は京成千葉寺駅。駅前ロータリーから徒歩約15分。
- 定 員 150人(申込先着順)
- 料 金 無 料 (展示室入場は有料。中学生以下、65歳以上は無料 要 年齢確認物)
- 申 込 方 法 往復ハガキ、FAX、Eメールのいずれかに、住所、受講希望者氏名(複数可)、
電話番号、FAX番号を書いて「公開講座担当者あて」までお申込みください。
- 郵送先: 〒266-0006 千葉市緑区大膳野町808
FAX番号: 043-291-9983 Eメール: carc-staff@pref.chiba.lg.jp

主催・共催 千葉県農林総合研究センター・千葉県立中央博物館

問い合わせ先

千葉県農林総合研究センター

〒266-0006 千葉市緑区大膳野町808 電話: 043-291-0151 (代表)

ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/>

【裏面も御覧下さい】

講演の概要

千葉県地形特性とその成り立ち—地形が違くと土壌も違う？—

千葉県中央博物館地学研究科主任上席研究員 八木 令子

土(土壌)は、地表の岩石や火山灰が風化して細かい砂や粘土となり、それらに植物の遺体やミズなどの働きが加わってできたものです。丘陵や台地、水田や畑、森林など、地形や植生の違いによって異なった土壌ができます。この講座では、千葉県の地形の特徴や分布、成り立ちについて解説し、中央博物館の土壌コーナーの展示準備を行った時のエピソードなども交えながら、それぞれの地域にどのような種類の土壌が見られるのかお話しします。

野菜生産を支える千葉の土

千葉県農林総合研究センター土壌環境研究室 研究員 永沢朋子

千葉県は、全国第4位の産出額を誇る農業県です。その4割を野菜が占めており、果物や花きも含めた園芸品目の栽培が盛んです。野菜を栽培する上で、土はとても大切な役割を果たしています。そこには、水や養分を蓄える力や作業のしやすさ等といった千葉の土ならではの特徴が隠されています。千葉県を代表する畑の土の特徴と野菜栽培との関わりを紹介します。

堆肥の特性と家庭菜園における土づくりのポイント

千葉県農林総合研究センター土壌環境研究室 研究員 塚本崇志

健全な野菜を作るためには、土づくりが欠かせません。土づくりに用いられる堆肥の効果を皆さんご存知ですか？堆肥は土が水や養分を蓄える力を高めたり、排水性を改善するだけでなく、野菜に必要な養分も多く含んでいます。そして、これらの効果は、牛ふん堆肥や鶏ふん堆肥等、堆肥の種類によって大きく異なります。家庭菜園における堆肥の効果的な利用法を紹介します。

肥料の特性に即した家庭菜園における施肥のポイント

千葉県農林総合研究センター土壌環境研究室 主任上席研究員 山本幸洋

野菜や花の栽培に欠かせない肥料ですが、その量が多過ぎたり少な過ぎたりしたことはありませんか？それに肥料の袋には難しい数字や専門用語がたくさん！なぜ、耕す前に石灰を撒くのでしょうか？お店に行くと粒状や液状など様々な肥料を販売しています。元肥に向く肥料はどれでしょう？追肥に向く肥料はどれでしょう？この講座では、ご家庭でおいしい野菜やきれいな花を育てるための施肥に関する基礎知識を紹介します。

実践、家庭菜園における土づくり

千葉県農林総合研究センター土壌環境研究室 研究員 原田浩司

プロの農家でも野菜栽培に失敗することがあります。その多くは、土のpH（酸度）が野菜の生育に適していなかったり、肥料を多くやりすぎたことが原因となっています。プランター栽培の実物を見ながら、土のpHの違いが野菜の生育に与える影響や、どの程度の肥料や堆肥を、どのようにまけば良いか等、実践できるテクニックを紹介します。